

きずな

公民館へ行ってみよう

発行 令和 7年2月15日

協和公民館だより

みんなとみんなをつなぐ公民館

館長 伊藤 博治

電話・FAX 68-2121

『これからの生涯学習活動を考えて 新しい学びの機会を求めて』

府中市教育委員会が創設を目指す「生涯学習大学」に向けて、「学び始めたくなる『きっかけ』を考えるワークショップ」を1月29日に開催しました。

府中市民や公民館長が生涯学習センターに集まり、知恵を出し合って、多くの人に利用してもらえる講座のアイデアを交流しました。

最初に、県立広島大学副学長の馬本勉さんに、これからの生涯学習のあり方についてプレゼンテーションしていただきました。

次に、新居浜市生涯学習センター所長の関福生さん（新居浜生涯学習大学の学長）に、先行実践都市での30年にわたる実績から、市民と創り上げてきた「学ぶ愉しさ」のエピソードについて話していただきました。

ワークショップでは6グループに分かれて、「個人の要望」や「社会の要請」を考えながら、新たな講座について発表しました。「大規模DIY」、「ジェネレーションギャップってなに?」、「子育てのあと、どうする講座」、「みんなの食堂」、「みそ講座」、「歩いて愉しむ歴史」と沢山のアイデアがでました。

今後は小中高生の意見にも耳を傾け、市民と創る全世代型の生涯学習講座をめざす予定です。

